

祝！開催 「第1回科学教室」

5月10日（土）に「第1回科学教室」を開催しました。記念すべき第1回目の内容は「実験しない生物学？ コンピュータを使った「計算生物学入門」でした。立命館大学の富樫祐一教授を招いてコンピュータの計算処理を実際に自分たちで体験しました。始まる前には生徒会によるインタビューも行われ最高のスタートを切れたのではないのでしょうか。今後も様々な活動を行っていきます。



「講義の様子」



「シミュレーション1」



「シミュレーション2」



「生徒会インタビューの様子」

「6月7日 第2回科学教室」

月に一度のお楽しみ。今回の科学教室では日本海洋学会名誉会員の市村洋先生を招いて海にまつわる実験をしました。塩分濃度や水温によって海水の密度が変わることを、与えられた実験器具を用いて自分たちで考え、確かめました。最後には地球温暖化が海全体に及ぼす影響についての話も聞けて、ワールドワイドな講義となりました。



「講義の様子」



「電子天秤で塩を測って
塩分濃度を調節します」



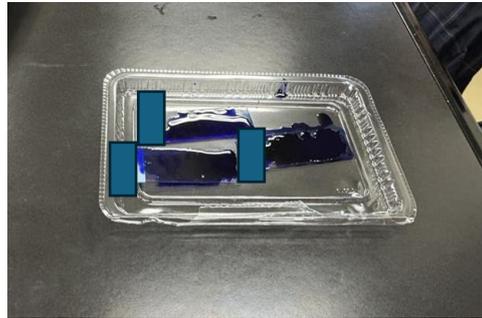
「塩分濃度によって色分け
をします」

「7月5日 第3回科学教室」

今回の科学教室は、「東京女子医科大学北原秀治特任准教授」による「血液」の講演でした。意外と自分の血液を顕微鏡で見たことがある人は少ないのではないのでしょうか。どうやら昔の血液検査は実際に顕微鏡で血液を見ていたとか。血液の勉強とともに実際にそのやり方を体験しました。看護系に進む生徒にとっては、将来のためのいい経験になったことでしょう。現在では機器を使って行われているこの作業。技術の進歩に感謝です。



「血液を採取中
チクッとします」



「観察しやすいように染色し
ます」



「染色した血液を顕微鏡で観
察中」



「ある教員の血液です」

「7月14日 科学教室特別版」

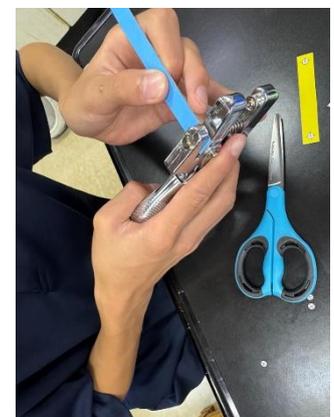
今月は特別月間で2回も科学教室を実施しました。雪谷高校に一番近い国立大学「東京科学大学」より岩附信行名誉教授・特命教授を招いてロボットの脚機構を作りました。初めはいただいた型紙を基に作りました。ある部分を円運動させるだけで脚の動きが再現できるのには驚きました。今後はなるべく少ない関節で動くには同意形がいかを考えて自分たちで作ってと宿題をいただきました。



「理科・数学の教員も参加」



「まずは型紙を切る作業
結構大変でした」



「切った型紙を輪留めパンチ
で留めていきます」



「あと少しで完成」



「完成！ほかにも2種類の脚を作りました」